

北海道の食品工業の付加価値に関する調査

調査の目的

北海道の農林水産業・食関連産業は素材供給型の生産が主体のため、全国に比べ、付加価値率が低い状態が続いています。利益率の高い農林水産業・食関連産業へ発展させるためには、6次産業化を促進するとともに北海道のブランド力を活かし、付加価値を高めることが重要です。

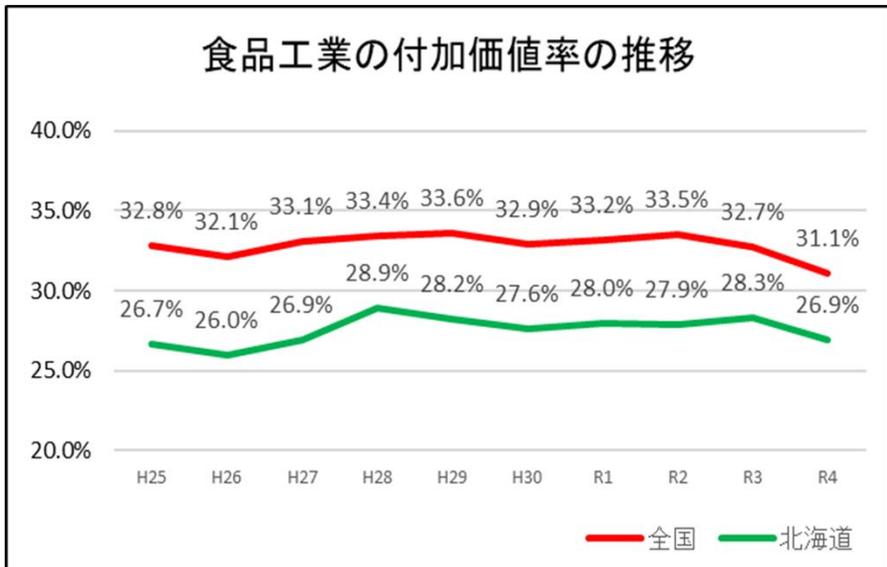
第9期北海道総合開発計画では、付加価値を最大化する生産供給体制の構築として、生産・加工・流通等の川上から川下まで関連産業が一体となった取組を重点的に取り組むこととしており、令和6年度に北海道の食品工業における付加価値の現状を把握するため、道内関係機関へのヒアリング調査を行いました。

※付加価値率とは、製造品出荷額等に占める付加価値額の割合

食品工業の付加価値率

○直近10年間(平成25年～令和4年)の北海道の食品工業における付加価値率は、26～28%台で推移しており、全国平均よりも低い。

○北海道の食品工業のうち、「製造品出荷額等」が高い製造業(1位から6位)の付加価値率は北海道全体より低い。



※出典:北海道「北海道の食品工業の現状」

分類	製造品出荷額等 (億円)	構成比 (製造品出荷額等)	付加価値率 ※付加価値額÷製造品出荷額等
乳製品製造業 (バター、チーズ、アイスクリームなど)	3,489	13%	15%
その他の水産食料品製造業 (鰹節、するめ、のりつくだ煮など)	2,264	8%	26%
冷凍水産食品製造業 (冷凍すり身)	2,213	8%	26%
配合飼料製造業 (配合飼料、観賞魚用飼料、ドッグフードなど)	2,068	8%	17%
冷凍水産物製造業 (冷凍魚介類)	1,953	7%	19%
処理牛乳・乳飲料製造業 (牛乳、粉乳、乳酸菌飲料など)	1,350	5%	18%

※出典:総務省・経済産業省「2023年 経済構造実態調査(製造業事業所調査)」を使用

ヒアリングの実施

ヒアリング機関	食品に関する関係機関・団体(10機関・団体)
ヒアリング期間	令和6年9月18日～令和7年2月27日
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の食品工業の付加価値率が低い理由について ・製造品出荷額等が高い製造業の付加価値率が低い理由について ・付加価値率を上げるために必要な取組について